



よつば小 だより

令和4年10月26日 第13号
守口市立よつば小学校
06-6901-5425
発行責任者 校長 濱口 和久



すくすくウォッチの結果について 《その1》

すくすくウォッチとは、昨年度より始まった5・6年生を対象とした大阪府独自の学力調査のことで、4月19日（火）に実施されました。5年生は、国語、算数、理科、及びわくわく問題（教科横断型問題）と児童アンケート、6年生は、わくわく問題と児童アンケートにそれぞれ取り組みました。（6年生は、同日、全国学力学習状況調査にも取り組みました。）

その結果について、一部抜粋してお示しいたします。

5年生

国語



(1) 比較的できていたもの

- ① 文中の助詞を正しく使う。（正しい言葉に直す）

【私は、橋を上で友達と出会った。 → 私は、橋の上で友達と出会った。】

- ② 文の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分の正しく書く。

【みくさんは、いつも掃除をがんばっているので、先生にほめた。 → ほめられた】

- ③ 文中における言葉の意味を正しく理解し、その反対の意味を表す言葉を理解する。

【「熱いお茶を飲む。」の反対を選ぶ 1寒い 2うすい 3冷たい 4低い → 答え3】

(2) 課題となるもの

- ① ことわざの意味を正しく理解する。

「雨降って地固まる」の正しい意味を選ぶ

- 1 雨が降ると、地面は一度柔らかくなってからだんだんと固くなる。
- 2 良くないことが起きたときは、続けて良くないことが起きる。
- 3 小さなことでも根気強く続けていれば、いつか良い結果となる。
- 4 もめ事があった後は、かえって前よりも良い状態となる。

答え 4

- ② 日常で使うローマ字を正しく書く。

「広島」をローマ字で書く → Hiroshima

(3) 今後の取組みで重要なこと

- ① 送り仮名を含め、既習漢字をしっかりと覚える。
- ② ローマ字を再確認する。
- ③ ことわざや故事成語を理解する。



算数

(1) 課題となるもの

- ① 棒グラフと折れ線グラフから、必要な情報を読み取る。
- ② 平行四辺形の特徴を理解し、式や言葉で表現できる。
- ③ ブロックを使って花壇を作るとき、使うブロックの数が一定の時、縦に置くブロックの数と横に置くブロックの数の数量の関係性を式で表す

縦 10 cm、横 30 cm、高さ 14 cmの直方体のブロック 12 個を使って花壇を作ります。花壇の縦に置くブロックの数と、横に置くブロックの数の関係を表す式を次のように考えたとき、 に当てはまる式を書きましょう。

縦に置くブロックの数を○個、横に置くブロックの数を□個として、○と□の関係を式に表すと、 になります。

答え $\text{○} + \text{□} = 6$

(2) 今後の取組みで重要なこと

- ① グラフの特徴を理解し、複数のグラフが使われた時の関係性を理解すること。
- ② それぞれの図形の特徴を確認すること。
- ③ 日常生活の中での様々な場面で、算数的な考え方を取り入れること。

理科

(1) 比較できていたもの

- ① 風の力の大きさとももの動き方の関係について、実験結果から考察する。

(実験結果を受け)

風の強さと物の動き方の関係について、分かることとして正しいものはどれですか。次の 1 から 3 までの中から一つ選びましょう。

- 1 風が弱いほうが、ものの動き方は大きくなる。
- 2 風が強いほうが、ものの動き方は大きくなる。
- 3 風が強くても弱くても、ものの動き方は変わらない。

答え 2

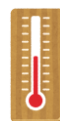
- ② モーターと乾電池をつないだ回路において、プロペラが逆に回転した理由を説明する。
→ 乾電池の向きを反対に取り付けたため、電流の向きが反対になったから。

(2) 課題となるもの

- ① 温度計を使った気温の測り方を正しく理解する。

温度計を使って気温をはかる方法として正しいものはどれですか。次の 1 から 4 の中からすべて選びましょう。

- 1 風通しの良い場所ではかる。
- 2 地面から 1.2m~1.5m の高さではかる。
- 3 えきだめをしっかりと持ってはかる。
- 4 温度計に日光が直接当たらないようにしてはかる。



答え 1, 2, 4

- ② 水が水蒸気になって空気中に出ていくことが蒸発であることを理解する。

(3) 今後の取組みで重要なこと

- ① 温度計の使用方法を確認すること。
- ② 日常生活の中での現象(蒸発、結露 など)について理解を深めること。

「令和 4 年度すくすくウォッチ」で検索していただくと、問題と解答をご覧いただけます。